

ぎょう市長会で協議

震災がれき受け入れ

知事会見 あす結論を発表

東日本大震災で発生した
がれきの受け入れに向けて
十九日の市長会、二十日の
町村会の両会合で「一定の
合意」を得たいとしている
鈴木英敬知事は、十八日の
定例記者会見で「三者で足
並みをそろえる方法を大切
にしていきたい」と、これ
まで通り市町の意向を尊重
する考えを強調。その上で
「（両会合を）終えて結論
を出したい」と述べた。

愛知県で大村秀章知事の
受け入れ表明が先行したこ
とへの評価は避けたが、
「私自身も一歩間違ってい
れば先走っていたところ。
市長会、町村会の会長がリ
ーダーシップのある方で、
三者で相談してきた。正解

と知っている」とした。一
方、県の情報管理について
は「報道とかが出るたび
に、ちゃんとしないとほ
思っている」と述べるにと
どめた。

市長会は十九日の定例
会、町村会は二十日の理事
会で、がれきの県内処理に
向けての対応を協議する。
二十日の町村会理事會終了
後に鈴木知事と亀井利克市
長、谷口友見町村会
会長の三者が会談、記者会
見し、結論を発表の予定。
がれきの広域処理を実施
しているのは現在、東京と
山形、青森の三都県。三重
県は「市町が要請に沿った
判断をできるよう環境づく
りをする」（鈴木知事）と
して、ガイドラインの作成
に取り掛かっている。

（森川静香）